

1. 事業の位置付け

事務事業名	万田貝塚住宅建替整備事業		
事業担当	まちづくり事業部 建築住宅課		
予算科目	01-080502-010200	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	02	②〈住みごこち〉 人にやさしい居住空間をつくる	
	01	1 地域の特性や景観を活かしたまちづくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成19年度～平成21年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
環境・安全性などに優れた、高い居住水準を誇るバリアフリー住宅を建設することにより、高齢者・障害者などの多様な市民ニーズに応えています。		住宅に困窮する市民に市営住宅を供給するため、万田貝塚住宅を建て替えます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	工事や入居者募集などの周知手段数						単位	件
	説明・算定式	広報紙、ホームページ、パンフレット							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			-	3	3			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：設計委託2%、H20：建設工事18%、H21：建設工事完成80%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			2	20	100			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
都市計画法、省エネ法、建築基準法の改正に伴い、万田貝塚住宅建替計画に基づく当初設計の修正設計を行った。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	住宅に困窮する市民に市営住宅を供給するため、建替整備を進めている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	住生活基本法に基づき、住宅政策における公営住宅の役割である住宅のセーフティーネット機能として、建替整備を進めている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	住宅困窮者(高齢者や単身者など)を対象とした住宅確保の視点などを考慮し、受益者負担を図っていく。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業経費に関しては、入居者ニーズを勘案しながら更なるコスト削減に取り組む。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

必要性、有効性、妥当性、効率性の総合評価は高い。ただし、効率性の部分で、事業経費のコスト削減に取り組む。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				設計委託	建設工事	建設工事、完成		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	46,718	291,517	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	57,000	455,200	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	121,835	56,259	0	0
事業費 (A)		0	0	0	225,553	802,976	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	16,782	16,782	16,782	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	16,782	242,335	819,758	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 実施計画どおり、現状の規模で21年度完成を目指し、建替整備を実施する。	
平成21年度の実行方針	
入居者ニーズを考慮しながら物件費を見直し、コストの削減に努める。	
課長コメント	21年度の完成を目指して、事業計画に基づく、適切で確実な事業展開を図っていく。

5. 事業展開の経緯

	平成17年度事業分	平成18年度事業分	平成19年度事業分
進捗状況	—	—	①：予定どおり
主な取組と成果			都市計画法、省エネ法、建築基準法の改正に伴い、万田貝塚住宅建替計画に基づく当初設計の修正設計を行った。
検証結果	—	—	A：成果があがった
	平成19年度への展開	平成20年度への展開	平成21年度への展開
今後に向けた課題			必要性、有効性、妥当性、効率性の総合評価は高い。ただし、効率性の部分で、事業経費のコスト削減に取り組む。
事業の方向性	—	—	現状の規模で継続
取組方針			入居者ニーズを考慮しながら物件費を見直し、コストの削減に努める。
事業区分	—	—	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。